

和光市水道ビジョン

～ 未来に引き継ぐ 安全で安心な わこうの水道 ～



(写真：平成 21 年度水道週間)

和光市水道部

ごあいさつ

和光市水道事業は、昭和34年4月に簡易水道事業として給水が開始されて以来、人口増加や生活水準の向上などによる社会環境の変化に対応しながら、水需要の増加に対処するため、数次の拡張事業により浄水場施設や給配水管などの計画的な整備を行い、安全な水の安定的な供給に努めてまいりました。



和光市が豊かで住み良い、魅力あるすばらしいまちとなるよう、また市民の皆様ひとりひとりがそう実感できるよう、本市の将来像である「みんなで作る快適環境都市わこう」の実現に向け、その一翼を担う和光市水道事業としても全力を挙げて取り組んでまいります。

さて、この度、和光市水道事業が将来にわたって果たしていくべき役割、そして目指すべき将来の水道のあり方を「和光市水道ビジョン」として策定いたしました。

これまでの水道事業は、水需要の増加に対して、量的に安定した供給を行うことが求められておりました。しかしながら、近年では、生活様式、生活形態の多様化に伴い、より一層安全な水を質的に安定した供給を行うことや、水道は重要なライフラインと認識されることから災害に強い水道施設の整備が、市民の皆様から期待されております。また、今日では、世界的な同時不況等による景気の低迷、地球規模の環境問題の顕在化など、水道事業を取り巻く社会環境も大きく変化しております。

「和光市水道ビジョン」では、こうした状況を踏まえ、市民の皆様から寄せられる期待の変化や社会環境の変化に的確に対応するとともに、将来の水道事業のあり方を改めてみつめなおしました。概ね2050年までの和光市水道の将来像を描き、それを念頭に具体的な目標を設定し、その達成に向け当面の10年間における実現化方策を検討し取りまとめたものとなっております。

快適で暮らしやすいまちを支える水道として、そして何よりも、市民の皆様から信頼される水道を目指して、「和光市水道ビジョン」に掲げる長期構想を着実に推進してまいります。

なお、本ビジョンの策定に当たりましては、市民代表による「和光市地域水道ビジョン検討会」における慎重な審議とパブリックコメントを経て策定を進め、市民の皆様をはじめ、関係各位から貴重なご意見、ご提言を多数いただきました。末筆ながら心より感謝申し上げますとともに、今後なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月25日

和光市長 **松本武洋**

目 次

第1章 総論.....	1
1 和光市水道ビジョンとは.....	1
(1) 和光市水道事業の長期的見通し.....	1
(2) 和光市水道ビジョンの計画期間と位置付け.....	2
2 和光市水道事業の将来像と将来目標.....	3
(1) 水需要の将来見通し.....	3
(2) 将来像.....	4
(3) 将来目標.....	5
第2章 各論.....	6
1 和光市水道事業の概要.....	6
(1) 和光市水道事業の沿革.....	6
(2) 和光市水道事業の概要と給水区域.....	7
2 現状分析・評価.....	8
(1) 安心.....	8
(2) 安定.....	14
(3) 持続.....	23
(4) 環境.....	30
(5) 現状分析・評価のまとめ.....	32
3 課題を解決するための施策.....	34
(1) 安心：「安全で安心な給水の維持」.....	36
(2) 安定：「安定的給水の確保」.....	39
(3) 持続：「将来にわたって安定した事業運営の継続」.....	42
(4) 環境：「環境エネルギー対策の強化」.....	47
4 事業計画と財政見通し.....	49
(1) 事業内容とスケジュール.....	49
(2) 財政見通し.....	50
5 計画のフォローアップ体制.....	51
(1) 目標の設定.....	51
(2) 計画の管理.....	51
付属資料.....	52
(1) 和光市水道ビジョンの策定経過.....	52
(2) 和光市地域水道ビジョン検討会設置要綱.....	53

第1章 総論

1 和光市水道ビジョンとは

和光市水道ビジョンは、和光市水道事業の現況を分析し、将来あるべき事業の姿を定めるものです。

国(厚生労働省)は、平成16年6月に国全体としての水道行政の方向性を示した「水道ビジョン」を策定しています。また、平成20年7月に「水道ビジョン改訂版」を公表したところですが。

和光市水道ビジョンは、これら国の施策に沿った計画となっています。

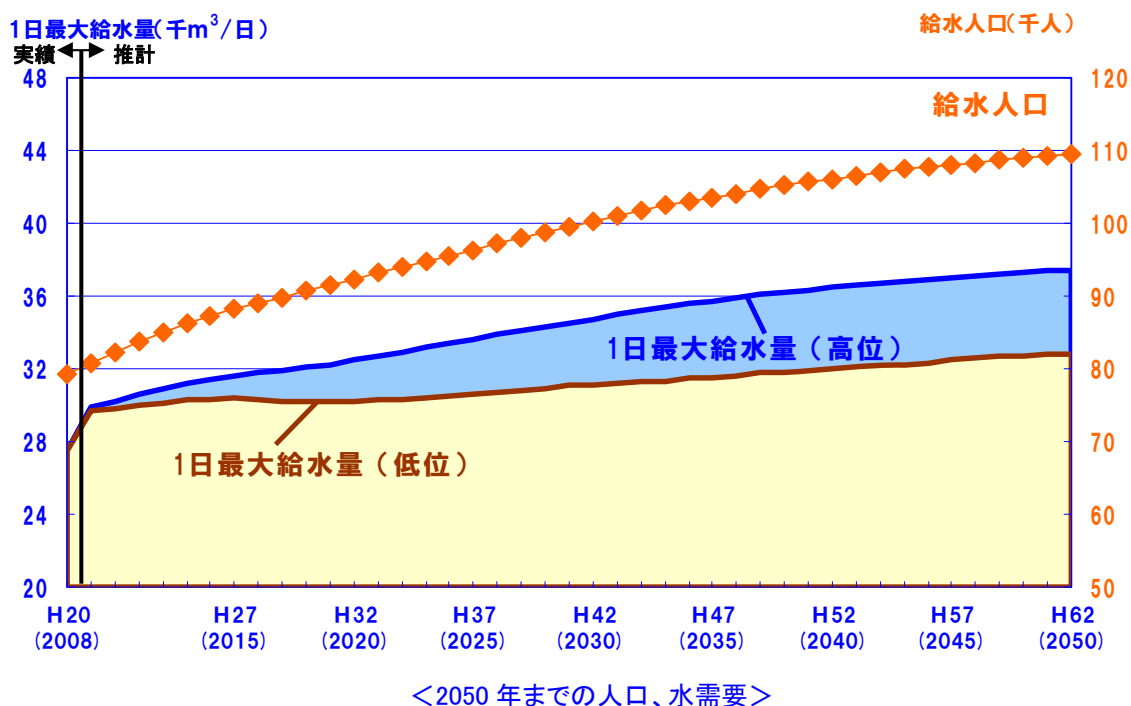
(1) 和光市水道事業の長期的見通し

和光市水道ビジョンを策定するために、長期的な水需要推計を行いました。

和光市の水需要(高位推計)は人口の増加に伴って増加する見込みですが、節水意識の高揚や節水機器の普及などを考慮した水需要(低位推計)では、長期的に見ても微増する程度で大幅な増加はないと見込まれました。

一方、現在水道事業で保有している施設はいずれ老朽化し、更新しなければなりません。

和光市水道ビジョンでは、このような長期的視点に立って、将来計画を策定しました。



(2) 和光市水道ビジョンの計画期間と位置付け

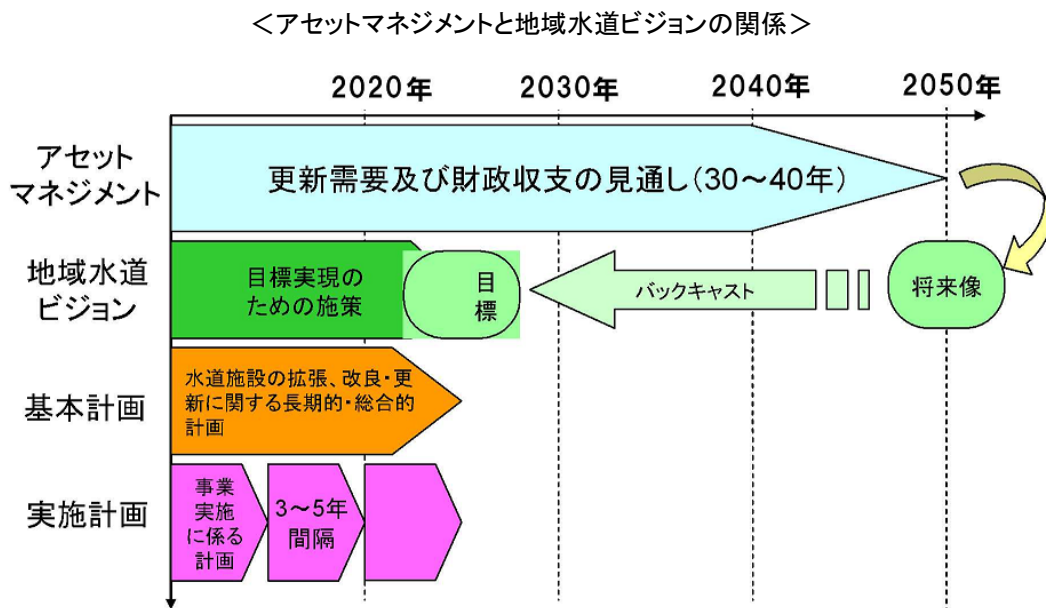
和光市水道ビジョンは、厚生労働省による「水道ビジョン（平成 20 年 7 月改訂）」の考え方に沿った計画で、和光市総合振興計画を上位計画とする計画です。

また、水道ビジョンの改訂後、厚生労働省は、「水道事業におけるアセットマネジメント（資産管理）に関する手引き（平成 21 年 7 月）」を公表しました。これは、水道事業において、長期（将来 30～40 年）の更新需要及び財政収支の見通しをたて、より計画的に事業推進を図るための手引きであり、地域水道ビジョンの作成においてこの視点を生かすことが重要であるとされています。（下図参照）

和光市水道ビジョンでは、アセットマネジメント（資産管理）の考え方を取り入れ、長期的な見通しのもと、和光市の将来像、将来目標及び目標実現（課題解決）のための施策を示します。

- ◆ 和光市水道ビジョンの計画期間：平成 22（2010）～平成 32（2020）年度
- ◆ 和光市水道ビジョンの目標年度：平成 32（2020）年度
- ◆ 和光市水道ビジョンの計画 1 日最大給水量：30,200（低位推計）～32,460m³/日（高位推計）

なお、アセットマネジメントによる長期的な更新需要等の見通しについては、現在から約 40 年後である平成 62（2050）年度を最終年度としました。

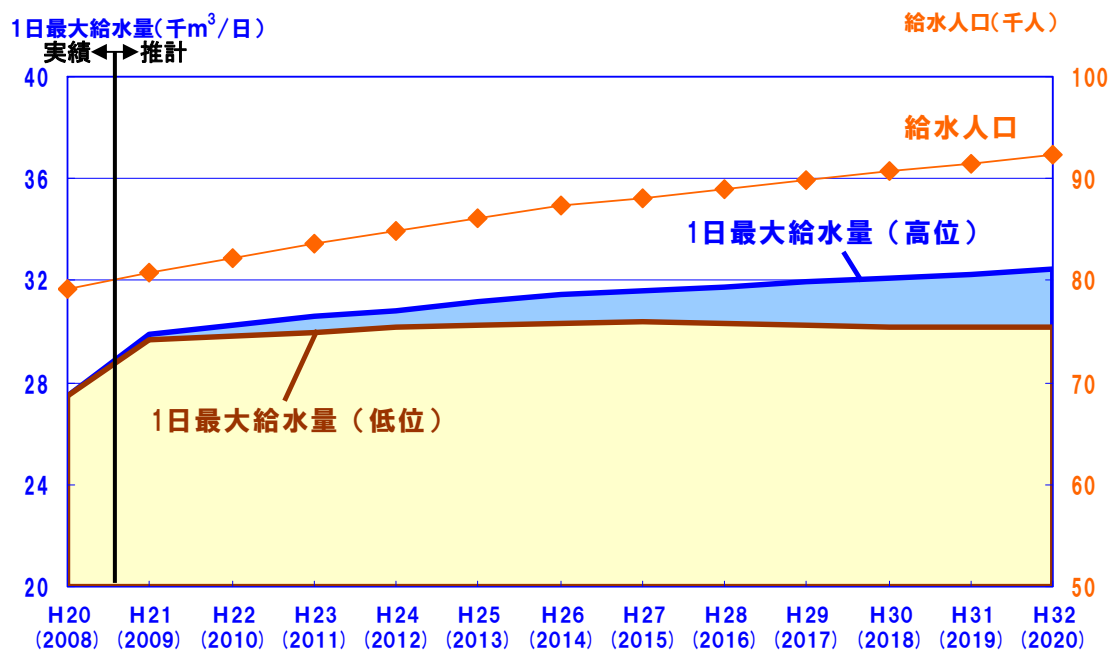


(出典)「水道事業におけるアセットマネジメント（資産管理）に関する手引き」
(平成 21 年 7 月、厚生労働省健康局水道課)

2 和光市水道事業の将来像と将来目標

(1) 水需要の将来見通し

和光市水道ビジョンの目標年度（平成 32（2020）年度）までの給水人口は増加傾向と見込まれます。その一方、水需要は、高位推計では人口の増加に伴って増加する見込みですが、低位推計では節水機器の普及等により伸びが抑えられ、ほぼ横ばいになると見込まれます。



	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	
給水人口(人)	79,240	80,710	82,210	83,720	84,950	86,190	
1日最大給水量(高位)(m³/日)	27,470	29,870	30,230	30,580	30,850	31,200	
1日最大給水量(低位)(m³/日)	27,470	29,680	29,830	29,980	30,150	30,270	
	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020)
給水人口(人)	87,320	88,150	88,990	89,820	90,660	91,490	92,320
1日最大給水量(高位)(m³/日)	31,450	31,610	31,770	31,930	32,070	32,220	32,460
1日最大給水量(低位)(m³/日)	30,310	30,360	30,300	30,240	30,160	30,190	30,200

<平成 32(2020)年までの人口、水需要>

(2) 将来像

和光市水道ビジョンでは、水道事業の現状分析・評価の結果を踏まえ、水道事業の将来像を以下のとおり定めました。

この将来像は、将来にわたって、利用者の皆様に安全で安心な水道水をお届けするという和光市水道事業の将来ビジョンです。



(3) 将来目標

将来像を実現するために、和光市水道ビジョンでは以下の4つの目標と9つの基本施策を定めました。

国による「水道ビジョン」では、「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」の5つの目標が示されています。和光市では、このうち、実際の事業と関連する「安心」「安定」「持続」「環境」の4項目について目標を定めました。

安全で安心な給水の維持

- ◆ 水源水質の維持
- ◆ 給水の安全管理の強化

安定的給水の確保

- ◆ 施設の適切な運用管理
- ◆ 災害対策の充実

将来にわたって 安定した事業運営の継続

- ◆ 長期的視点に立った施設更新
- ◆ 健全経営の実現
- ◆ 利用者の視点に立った経営
- ◆ 安定した組織・技術の確保

環境エネルギー対策の強化

- ◆ 環境に配慮した事業運営